

2011年4月11日

大阪経済記者クラブ 各位

公益社団法人 関西経済連合会

起業家精神涵養のための

「若手経営幹部候補米国派遣プログラム（仮称）」について

1. 趣旨：

近年、社会人、学生を問わず、若者の内向き志向を懸念する声が高まっている。こうした状況に対し、2010年2月の関西財界セミナーで「起業家精神とイノベーション」について特別講演を行ったルース駐日米国大使から、若手人材が米国にて起業家精神を肌で感じてみるような機会を設けてはどうかとの提案がなされた。

これを受け、当会では中堅企業経営幹部や米国事情に知見のある大学教官等にヒアリングを行うとともに、米国総領事館と協議を行った結果、今般、米国総領事館との協力・連携の下、関西の中堅・中小企業の若手経営人材を対象とする短期の米国訪問プログラムを創設することとなった。

本プログラムにおいては、シリコンバレーなど米国西海岸において、米国企業（ベンチャー企業、ベンチャー・キャピタルを含む）幹部やスタンフォード大学等の教官・MBA学生等との対話や交流を通じ、参加者の起業家精神を涵養し、もって企業のグローバル化を支える経営人材の育成を図るとともに、米国西海岸と関西のビジネス交流・連携拡大の契機とする。

2. 主 催：大阪一神戸米国総領事館、公益社団法人関西経済連合会

3. 時期：2011年10月頃、10日間程度（予定、詳細は米国側と調整中）

4. 人数：中堅企業等の若手幹部候補 5～6人（概ね25～35歳位）

5. プログラム：

シリコンバレーなど西海岸において、米国企業、ベンチャー・キャピタル、スタンフォード大学等の教官・MBA学生、日本人起業家、ベンチャー・キャピタリスト、日本総領事館、ジェトロなどを訪問。米国西海岸の起業家精神とそれを支える社会的・文化的背景を理解するとともに、現地で活躍する日本企業・日本人の成功事例に学ぶ。併せて、将来のビジネス交流・連携も視野に、訪問先および参加者間の人脈形成を図る。

研修成果を高めるため、帰国前・帰国後研修を実施する。

6. 募集・選考：

当会会員企業を対象に4月中旬より公募。選考委員会（有識者、企業関係者、米国総領事館および関経連事務局で構成）で人選を行う。

以 上

※本件お問い合わせ先：

関経連国際部：小林・樋口 TEL 06(6441)0104

関経連秘書広報部：三村・湯室 TEL 06(6441)0105